

別紙2 集荷業者・大型乾燥調製施設アンケート集計表

質問事項		回答数	割合
		698	
問1: 主たる事業所の所在地(都道府県)		698	100.0%
問2: 平成26年産米の取扱数量(トン)		672 (平均9,795トン)	96.3%
問3: お米の主な出荷・販売先(複数回答可)	JA	464	66.5%
	JA以外の集荷業者	52	7.4%
	消費者	157	22.5%
	米穀卸売業者	349	50.0%
	米穀小売業者	131	18.8%
	外食事業者	71	10.2%
	食品製造事業者	40	5.7%
	その他	16	2.3%
問4: 農産物検査(米)を受検している、又は、受検していない主な理由はなんですか?(複数回答可)	取引上必要のため(受検)	647	92.7%
	品質の改善に必要と思われるため(受検)	86	12.3%
	実需先からの要請のため(受検)	63	9.0%
	その他(受検)	4	0.6%
	必要性がないため(非受検)	0	0.0%
	経費がかかるため(非受検)	1	0.1%
	特に理由はない(非受検)	0	0.0%
	その他(非受検)	2	0.3%
問5: 集荷した米穀の出荷・販売時に相手側からクレームを受けたことがありますか?また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)			
クレームを受けたことがある		400	57.3%
クレームを受けた主な理由は何でしたか?	石・ガラスなどの異物がある	95	13.6%
	草のタネなどの異物がある	78	11.2%
	着色粒が多い	105	15.0%
	もみの混入が多い	90	12.9%
	水分が高い	57	8.2%
	胴割・砕粒が多い	94	13.5%
	検査の等級と品質が一致しない	97	13.9%
	異品種の混入がある	32	4.6%
	異臭がある	49	7.0%
	その他	59	8.5%
クレームを受けたことはない		293	42.0%
無回答		5	0.7%
問6: 共同乾燥調製施設に搬入された玄米(もみ)の品質に問題があったことがありますか?また、その主な問題はなんですか。(複数回答可)			
品質に問題があったことがある		250	35.8%
品質に問題があった主な理由は何でしたか?	石・ガラスなどの異物がある	29	4.2%
	草のタネなどの異物がある	109	15.6%
	着色粒が多い	83	11.9%
	もみの混入が多い	15	2.1%
	水分が高い	83	11.9%
	胴割・砕粒が多い	39	5.6%
	異品種・異種穀粒の混入がある	28	4.0%
	異臭がある	18	2.6%
	その他	18	2.6%
品質に問題があったことはない		346	49.6%
無回答		102	14.6%
問7: 農産物検査(米)の規格において、主に重視する項目はありますか?(複数回答可)			
	整粒	527	75.5%
	形質(粒ぞろい)	213	30.5%
	形質(充実度)	323	46.3%
	形質(肌ずれ)	102	14.6%
	形質(心白、腹白)	354	50.7%
	水分値	331	47.4%
	病害粒	115	16.5%
	虫害粒	239	34.2%
	胴割粒	441	63.2%
	死米	103	14.8%
	着色粒	412	59.0%
	異物・異種穀粒	249	35.7%
	その他	10	1.4%

質問事項	回答数	割合	
問8: 農産物検査(米)の規格等において、見直しが必要と思われる項目(緩和・強化等のどちらかに○印)はありますか？(複数回答可)	整粒値[緩和]	42	6.0%
	整粒値[強化]	10	1.4%
	形質(粒ぞろい)[緩和]	31	4.4%
	形質(粒ぞろい)[強化]	6	0.9%
	形質(心白、腹白粒)[緩和]	42	6.0%
	形質(心白、腹白粒)[強化]	15	2.1%
	水分上限値[緩和]	27	3.9%
	水分上限値[強化]	24	3.4%
	胴割粒[緩和]	11	1.6%
	胴割粒[強化]	42	6.0%
	死米[緩和]	7	1.0%
	死米[強化]	4	0.6%
	着色粒[緩和]	158	22.6%
	着色粒[強化]	4	0.6%
	異物・異種穀粒[緩和]	9	1.3%
	異物・異種穀粒[強化]	5	0.7%
	等級[簡素化]	53	7.6%
	等級[細分化]	7	1.0%
	現行のままでよい	371	53.2%
その他	44	6.3%	
問9: 精米歩留まりに大きく影響する玄米品質等の項目は何だとお考えですか？(複数回答可)	粒の皮の厚薄	121	17.3%
	充実度	261	37.4%
	肌ずれ	14	2.0%
	心白・腹白粒	154	22.1%
	死米	161	23.1%
	着色粒	223	31.9%
	未熟粒	271	38.8%
	水分	70	10.0%
	農産物検査の等級	75	10.7%
	胴割粒	494	70.8%
	碎粒	295	42.3%
	異物・異種穀粒	55	7.9%
	その他	4	0.6%
	問10: 現在、農産物検査は農産物検査員の目視による鑑定を基本としていますが、今後は穀粒判別機等の測定機器導入をもっと進めるべきと思いますか？	進める必要がある	293
進める必要はない		52	7.4%
現状のままでよい		320	45.8%
その他・無回答		33	4.7%
問11: 玄米・精米の調製のため「色彩選別機」を所有していますか？	所有している	507	72.6%
	有効に活用できている	467	66.9%
	有効に活用できていない	21	3.0%
	無回答	19	2.7%
	所有していない	166	23.8%
	導入を検討している	40	5.7%
	導入を検討していない	90	12.9%
	無回答	36	5.2%
	その他・無回答	25	3.6%
	問12: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和するべき	244
現状のままでよい		377	54.0%
厳しくするべき		11	1.6%
わからない(どちらでもよい)		49	7.0%
その他・無回答		17	2.4%
問13: 農産物検査に望むことはありますか？また、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。		検査手法の合理化、簡素化	341
検査規格の強化	9	1.3%	
検査規格の緩和	81	11.6%	
新たな評価方法の活用	55	7.9%	
DNA鑑定の導入	15	2.1%	
全面的な廃止	14	2.0%	
現状のままでよい	236	33.8%	
その他	50	7.2%	
ご意見・ご要望	76	10.9%	

別紙3 登録検査機関アンケート集計表

質問事項	回答数	割合	
	1,222		
問1: 主たる事務所の所在地(都道府県)	1,221	99.9%	
問2: 平成26年産米の検査数量(トン)	1,152 (平均4,681トン)	94.3%	
問3: 農産物検査を行った米穀の出荷・販売時に、相手側からクレームを受けたことがありますか？また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)			
クレームを受けたことがある	396	32.4%	
クレームを受けた主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある	71	5.8%
	草のタネなどの異物がある	71	5.8%
	着色粒が多い	111	9.1%
	もみの混入が多い	71	5.8%
	水分が高い	37	3.0%
	胴割・砕粒が多い	93	7.6%
	検査の等級と品質が一致しない	99	8.1%
	異品種の混入がある	29	2.4%
	異臭がある	21	1.7%
その他	46	3.8%	
クレームを受けたことはない	807	66.0%	
無回答	19	1.6%	
問4: 農産物検査(米)の規格において、主に重視する項目はありますか？(複数回答可)			
整粒	整粒	845	69.1%
	形質(粒ぞろい)	371	30.4%
	形質(充実度)	574	47.0%
	形質(肌ずれ)	161	13.2%
	形質(心白、腹白)	633	51.8%
	水分値	547	44.8%
	病害粒	187	15.3%
	虫害粒	483	39.5%
	胴割粒	815	66.7%
	死米	175	14.3%
	着色粒	732	59.9%
	異物・異種穀粒	360	29.5%
	その他	18	1.5%
問5: 農産物検査(米)の規格等において、見直しが必要だとと思われる項目(緩和・強化等のどちらかに○印)はありますか？(複数回答可)			
整粒値[緩和]	整粒値[緩和]	60	4.9%
	整粒値[強化]	40	3.3%
	形質(粒ぞろい)[緩和]	37	3.0%
	形質(粒ぞろい)[強化]	22	1.8%
	形質(心白、腹白粒)[緩和]	88	7.2%
	形質(心白、腹白粒)[強化]	36	2.9%
	水分上限値[緩和]	54	4.4%
	水分上限値[強化]	41	3.4%
	胴割粒[緩和]	18	1.5%
	胴割粒[強化]	102	8.3%
	死米[緩和]	13	1.1%
	死米[強化]	17	1.4%
	着色粒[緩和]	298	24.4%
	着色粒[強化]	40	3.3%
	異物・異種穀粒[緩和]	16	1.3%
	異物・異種穀粒[強化]	35	2.9%
	等級[簡素化]	93	7.6%
	等級[細分化]	22	1.8%
	現行のままでよい	631	51.6%
	その他	69	5.6%
問6: 現在、農産物検査は農産物検査員の目視による鑑定を基本としていますが、今後は穀粒判別機等の測定機器導入をもっと進めるべきだと思いますか？			
進める必要がある	473	38.7%	
進める必要はない	104	8.5%	
現状のままでよい	606	49.6%	
その他・無回答	39	3.2%	
問7: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？			
緩和するべき	452	37.0%	
現状のままでよい	595	48.7%	
厳しくするべき	52	4.3%	
わからない(どちらでもよい)	102	8.3%	
その他・無回答	21	1.7%	

質問事項	回答数	割合	
問8: 農産物検査(米)時に、異品種の混入を確認し、銘柄証明を行わなかったことはありましたか？また、そのことについて具体的に対応されたことはありましたか。			
異品種混入の確認実績があった	176	14.4%	
異品種混入を確認された場合どうされましたか？	DNA鑑定の結果、証明を行った	25	2.0%
	検査請求の変更を行った	73	6.0%
	検査請求の取り下げを行った	73	6.0%
	その他	25	2.0%
異品種混入の確認実績はなかった	1,011	82.7%	
無回答	35	2.9%	
問9: 農産物検査に望むことはありますか？また、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。			
	検査手法の合理化、簡素化	411	33.6%
	検査規格の強化	21	1.7%
	検査規格の緩和	100	8.2%
	新たな評価方法の活用	70	5.7%
	DNA鑑定の導入	25	2.0%
	全面的な廃止	19	1.6%
	現状のままでよい	345	28.2%
	事務(報告)の簡素化	600	49.1%
	その他	126	10.3%
ご意見・ご要望	171	14.0%	

別紙4 米穀卸売事業者・精米工場アンケート集計表

質問事項	回答数	割合
	128	
問1: 主たる事務所の所在地(都道府県)	127	99.2%
問2: 平成26年度の米取扱数量(トン)	116 (平均23,264トン)	90.6%
問3: お米の主な仕入れ先(複数回答可)	全農	95 74.2%
	JA	106 82.8%
	JA以外の集荷業者	92 71.9%
	米穀卸売業者	90 70.3%
	米穀小売業者	19 14.8%
	生産者	56 43.8%
	その他	0 0.0%
問4: 玄米・精米の出荷・販売時に相手側からクレームを受けたことがありますか？また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)		
	クレームを受けたことがある	118 92.2%
	クレームを受けた主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある
		48 37.5%
		草のタネなどの異物がある
		59 46.1%
		着色粒が多い
		62 48.4%
		もみの混入が多い
		31 24.2%
		水分が高い
		10 7.8%
		胴割・砕粒が多い
		49 38.3%
		検査の等級と品質が一致しない
		31 24.2%
		異品種の混入がある
		13 10.2%
		異臭がある
		30 23.4%
		その他
		18 14.1%
	クレームを受けたことはない	10 7.8%
	無回答	0 0.0%
問5: 納入された玄米の品質に問題があったことがありますか？また、その主な問題は何ですか？(複数回答可)		
	品質に問題があったことがある	111 86.7%
	品質に問題があった主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある
		34 26.6%
		草のタネなどの異物がある
		57 44.5%
		着色粒が多い
		70 54.7%
		もみの混入が多い
		48 37.5%
		水分が高い
		33 25.8%
		胴割・砕粒が多い
		69 53.9%
		異品種・異種穀粒の混入がある
		19 14.8%
		異臭がある
		30 23.4%
		その他
		13 10.2%
	品質に問題があったことはない	17 13.3%
	無回答	0 0.0%
問6: 農産物検査(米)の規格において、主に重視する項目はありますか？(複数回答可)		
	整粒	98 76.6%
	形質(粒ぞろい)	40 31.3%
	形質(充実度)	43 33.6%
	形質(肌ずれ)	23 18.0%
	形質(心白、腹白)	79 61.7%
	水分値	66 51.6%
	病害粒	30 23.4%
	虫害粒	51 39.8%
	胴割粒	104 81.3%
	死米	30 23.4%
	着色粒	92 71.9%
	異物・異種穀粒	41 32.0%
	その他	1 0.8%

質問事項	回答数	割合	
問7: 農産物検査(米)の規格等において、見直しが必要だと思われる項目(緩和・強化等のどちらかに○印)はありますか？(複数回答可)	整粒値[緩和]	1	0.8%
	整粒値[強化]	28	21.9%
	形質(粒ぞろい)[緩和]	1	0.8%
	形質(粒ぞろい)[強化]	17	13.3%
	形質(心白、腹白粒)[緩和]	2	1.6%
	形質(心白、腹白粒)[強化]	39	30.5%
	水分上限値[緩和]	4	3.1%
	水分上限値[強化]	16	12.5%
	胴割粒[緩和]	0	0.0%
	胴割粒[強化]	64	50.0%
	死米[緩和]	0	0.0%
	死米[強化]	14	10.9%
	着色粒[緩和]	3	2.3%
	着色粒[強化]	45	35.2%
	異物・異種穀粒[緩和]	1	0.8%
	異物・異種穀粒[強化]	28	21.9%
	等級[簡素化]	4	3.1%
	等級[細分化]	13	10.2%
	現行のままでよい	26	20.3%
	その他	7	5.5%
問8: 精米の歩留まりに大きく影響する玄米品質等の項目は何かとお考えですか？(複数回答可)	粒の皮の厚薄	43	33.6%
	充実度	36	28.1%
	肌ずれ	6	4.7%
	心白・腹白粒	35	27.3%
	死米	42	32.8%
	着色粒	76	59.4%
	未熟粒	54	42.2%
	水分	21	16.4%
	農産物検査の等級	34	26.6%
	胴割粒	109	85.2%
	碎粒	86	67.2%
	異物・異種穀粒	15	11.7%
	その他	2	1.6%
	問9: 現在、農産物検査は農産物検査員の目視による鑑定を基本としていますが、今後は穀粒判別機等の測定機器導入をもっと進めるべきだと思いますか？	進める必要がある	95
進める必要はない		6	4.7%
現状のままでよい		21	16.4%
その他・無回答		6	4.7%
問10: 玄米・精米の調製のため「色彩選別機」を所有しているか	所有している	123	96.1%
	有効に活用できている	115	89.8%
	有効に活用できていない	5	3.9%
	無回答	3	2.3%
	所有していない	4	3.1%
	導入を検討している	0	0.0%
	導入を検討していない	2	1.6%
	無回答	2	1.6%
	その他・無回答	1	0.8%
	問11: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和するべき	10
現状のままでよい		71	55.5%
厳しくするべき		43	33.6%
わからない(どちらでもよい)		1	0.8%
その他・無回答		3	2.3%
問12: 農産物検査に望むことはありますか？また、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。	検査手法の合理化、簡素化	34	26.6%
	検査規格の強化	43	33.6%
	検査規格の緩和	2	1.6%
	新たな評価方法の活用	25	19.5%
	DNA鑑定の導入	26	20.3%
	全面的な廃止	0	0.0%
	現状のままでよい	29	22.7%
	その他	30	23.4%
ご意見・ご要望	30	23.4%	

別紙5 米穀小売専門店アンケート集計表

質問事項		回答数	割合
		145	
問1: 主たる事務所の所在地(都道府県)		145	100.0%
問2: 平成26年産米の取扱数量(トン)		116 (平均454トン)	80.0%
問3: お米の主な仕入れ先(複数回答可)	全農	12	8.3%
	JA	33	22.8%
	JA以外の集荷業者	39	26.9%
	米穀卸売業者	111	76.6%
	米穀小売業者	19	13.1%
	生産者	100	69.0%
その他		2	1.4%
問4: お米(米飯)の販売・提供時に、相手側からクレームを受けたことがありますか？また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)			
クレームを受けたことがある		97	66.9%
クレームを受けた主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある	9	6.2%
	草のタネなどの異物がある	32	22.1%
	着色粒が多い	41	28.3%
	もみの混入が多い	11	7.6%
	水分が高い	2	1.4%
	胴割・砕粒が多い	26	17.9%
	検査等級と品質が一致しない	5	3.4%
	異品種の混入がある	2	1.4%
	異臭がある	5	3.4%
その他	27	18.6%	
クレームを受けたことはない		42	29.0%
無回答		6	4.1%
問5: 納入された玄米・精米の品質に問題があったことがありますか？また、その主な問題は何ですか。(複数回答可)			
品質に問題があった		112	77.2%
品質に問題があった主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある	28	19.3%
	草のタネなどの異物がある	54	37.2%
	着色粒が多い	69	47.6%
	もみの混入が多い	30	20.7%
	水分が高い	9	6.2%
	胴割・砕粒が多い	39	26.9%
	異品種・異種穀粒混入あった	3	2.1%
	異臭がある	10	6.9%
	その他	14	9.7%
品質に問題はなかった		29	20.0%
無回答		4	2.8%
問6: 農産物検査(米)の規格において、主に重視する項目はありますか？(複数回答可)			
	整粒	93	64.1%
	形質(粒ぞろい)	62	42.8%
	形質(充実度)	38	26.2%
	形質(肌ずれ)	24	16.6%
	形質(心白、腹白)	82	56.6%
	水分値	57	39.3%
	病害粒	40	27.6%
	虫害粒	65	44.8%
	胴割粒	78	53.8%
	死米	35	24.1%
	着色粒	78	53.8%
	異物・異種穀粒	40	27.6%
	その他	2	1.4%

質問事項	回答数	割合	
問7: 農産物検査(米)の規格等において、見直しが必要と思われる項目(緩和・強化等のどちらかに○印)はありますか？(複数回答可)	整粒値[緩和]	0	0.0%
	整粒値[強化]	41	28.3%
	形質(粒ぞろい)[緩和]	1	0.7%
	形質(粒ぞろい)[強化]	24	16.6%
	形質(心白、腹白粒)[緩和]	1	0.7%
	形質(心白、腹白粒)[強化]	35	24.1%
	水分上限値[緩和]	4	2.8%
	水分上限値[強化]	15	10.3%
	胴割粒[緩和]	0	0.0%
	胴割粒[強化]	48	33.1%
	死米[緩和]	2	1.4%
	死米[強化]	28	19.3%
	着色粒[緩和]	5	3.4%
	着色粒[強化]	54	37.2%
	異物・異種穀粒[緩和]	0	0.0%
	異物・異種穀粒[強化]	32	22.1%
	等級[簡素化]	4	2.8%
	等級[細分化]	25	17.2%
	現行のままでよい	40	27.6%
その他	11	7.6%	
問8: 精米の歩留まりに大きく影響する玄米品質等の項目は何かとお考えですか？(複数回答可)	粒の皮の厚薄	36	24.8%
	充実度	25	17.2%
	肌ずれ	4	2.8%
	心白・腹白粒	31	21.4%
	死米	42	29.0%
	着色粒	52	35.9%
	未熟粒	76	52.4%
	水分	23	15.9%
	農産物検査の等級	23	15.9%
	胴割粒	108	74.5%
	碎粒	81	55.9%
	異物・異種穀粒	17	11.7%
	その他	2	1.4%
	問9: 現在、農産物検査は農産物検査員の目視による鑑定を基本としていますが、今後は穀粒判別機等の測定機器導入をもっと進めるべきと思いますか？	進める必要がある	87
進める必要はない		5	3.4%
現状のままでよい		43	29.7%
その他・無回答		10	6.9%
問10: 玄米・精米の調製のため「色彩選別機」を所有していますか？	所有している	127	87.6%
	有効に活用できている	120	82.8%
	有効に活用できていない	5	3.4%
	無回答	2	1.4%
	所有していない	15	10.3%
	導入を検討している	1	0.7%
	導入を検討していない	11	7.6%
	無回答	3	2.1%
	その他・無回答	3	2.1%
	問11: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和するべき	10
現状のままでよい		64	44.1%
厳しくするべき		66	45.5%
わからない(どちらでもよい)		4	2.8%
その他・無回答		1	0.7%
問12: 農産物検査に望むことはありますか？また、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。		検査手法の合理化、簡素化	22
	検査規格の強化	63	43.4%
	検査規格の緩和	2	1.4%
	新たな評価方法の活用	23	15.9%
	DNA鑑定の導入	12	8.3%
	全面的な廃止	1	0.7%
	現状のままでよい	34	23.4%
	その他	26	17.9%
ご意見・ご要望	29	20.0%	

別紙6 食品製造事業者(炊飯業者)アンケート集計表

質問事項		回答数	割合
		68	
問1: 主たる事務所の所在地(都道府県)		68	100.0%
問2: 平成26年度の米取扱数量(トン)		64 (平均5,899トン)	94.1%
問3: お米の主な仕入れ先(複数回答可)	共同購入	6	8.8%
	全農	21	30.9%
	JA	21	30.9%
	米穀卸売業者	52	76.5%
	米穀小売業者	5	7.4%
	生産法人・生産者	11	16.2%
その他		1	1.5%
問4: お米(米飯)の販売・提供時に、相手側からクレームを受けたことがありますか？また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)			
クレームを受けたことがある		55	80.9%
クレームを受けた主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある	18	26.5%
	草のタネなどの異物がある	21	30.9%
	着色粒が多い	8	11.8%
	もみの混入が多い	1	1.5%
	水分が高い	10	14.7%
	胴割・砕粒が多い	9	13.2%
	検査の等級と品質が一致しない	0	0.0%
	異品種の混入がある	5	7.4%
	異臭がある	7	10.3%
	その他	21	30.9%
クレームを受けたことはない		13	19.1%
無回答		0	0.0%
問5: 納入された玄米・精米の品質い問題があったことがありますか？また、その主な問題は何ですか？(複数回答可)			
品質に問題があったことがある		41	60.3%
品質に問題があった主な理由は何でしたか？	石・ガラスなどの異物がある	13	19.1%
	草のタネなどの異物がある	18	26.5%
	着色粒が多い	15	22.1%
	もみの混入が多い	3	4.4%
	水分が高い	3	4.4%
	胴割・砕粒が多い	17	25.0%
	異品種・異種穀粒の混入がある	4	5.9%
	異臭がある	4	5.9%
	その他	10	14.7%
	品質に問題があったことはない		27
無回答		0	0.0%
問6: 農産物検査(米)の規格において、主に重視する項目はありますか？(複数回答可)			
整粒		47	69.1%
形質(粒ぞろい)		32	47.1%
形質(充実度)		14	20.6%
形質(肌ずれ)		5	7.4%
形質(心白、腹白)		20	29.4%
水分値		34	50.0%
病害粒		10	14.7%
虫害粒		22	32.4%
胴割粒		47	69.1%
死米		6	8.8%
着色粒		25	36.8%
異物・異種穀粒		29	42.6%
その他		0	0.0%

質問事項	回答数	割合	
問7: 農産物検査(米)の規格等において、見直しが必要と思われる項目(緩和・強化等のどちらかに○印)はありますか？(複数回答可)	整粒値[緩和]	1	1.5%
	整粒値[強化]	9	13.2%
	形質(粒ぞろい)[緩和]	1	1.5%
	形質(粒ぞろい)[強化]	8	11.8%
	形質(心白、腹白粒)[緩和]	1	1.5%
	形質(心白、腹白粒)[強化]	7	10.3%
	水分上限値[緩和]	1	1.5%
	水分上限値[強化]	4	5.9%
	胴割粒[緩和]	0	0.0%
	胴割粒[強化]	17	25.0%
	死米[緩和]	0	0.0%
	死米[強化]	2	2.9%
	着色粒[緩和]	1	1.5%
	着色粒[強化]	12	17.6%
	異物・異種穀粒[緩和]	0	0.0%
	異物・異種穀粒[強化]	15	22.1%
	等級[簡素化]	2	2.9%
	等級[細分化]	5	7.4%
	現行のままでよい	28	41.2%
	その他	2	2.9%
問8: 現在、農産物検査は農産物検査員の目視による鑑定を基本としていますが、今後は穀粒判別機等の測定機器導入をもっと進めるべきと思いますか？	進める必要がある	42	61.8%
	進める必要はない	2	2.9%
	現状のままでよい	19	27.9%
	その他・無回答	5	7.4%
問9: 玄米・精米の調製のため「色彩選別機」を所有していますか？	所有している	18	26.5%
	有効に活用できている	18	26.5%
	有効に活用できていない	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	所有していない	45	66.2%
	導入を検討している	2	2.9%
	導入を検討していない	36	52.9%
	無回答	7	10.3%
	その他・無回答	5	7.4%
	問10: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和するべき	3
現状のままでよい		47	69.1%
厳しくするべき		10	14.7%
わからない(どちらでもよい)		6	8.8%
その他・無回答		2	2.9%
問11: 農産物検査に望むことはありますか？また、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。	検査手法の合理化、簡素化	8	11.8%
	検査規格の強化	18	26.5%
	検査規格の緩和	1	1.5%
	新たな評価方法の活用	5	7.4%
	DNA鑑定の導入	17	25.0%
	全面的な廃止	0	0.0%
	現状のままでよい	29	42.6%
その他	11	16.2%	
ご意見・ご要望	6	8.8%	

別紙7 スーパーマーケット・コンビニエンスストア アンケート集計表

質問事項	回答数	割合
	32	
問1: 主たる事務所の所在地(都道府県)	32	100.0%
問2: 平成26年度の米取扱数量(トン)	32 (平均52,200トン)	100.0%
問3: お米の主な仕入れ先(複数回答可)	全農 JA JA以外の集荷業者 米穀卸売業者 米穀小売業者 生産者 その他	11 7 3 29 1 4 0 34.4% 21.9% 9.4% 90.6% 3.1% 12.5% 0.0%
問4: 玄米・精米・米飯の販売・提供時に消費者からクレームを受けたことはありますか？また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)	クレームを受けたことがある クレームを受けた主な理由は何でしたか？ クレームを受けたことはない 無回答	25 4 1 7 2 1 10 1 0 8 14 7 0 78.1% 12.5% 3.1% 21.9% 6.3% 3.1% 31.3% 3.1% 0.0% 25.0% 43.8% 21.9% 0.0%
問5: 納入された玄米・精米・米飯の品質に問題があったことがありますか？また、その主な問題は何ですか。(複数回答可)	品質に問題があったことがある 品質に問題があった主な理由は何でしたか？ 品質に問題があったことはない 無回答	13 1 1 7 2 1 8 0 2 2 19 0 40.6% 3.1% 3.1% 21.9% 6.3% 3.1% 25.0% 0.0% 6.3% 6.3% 59.4% 0.0%
問6: お米が納入された際に、品質面などで特に注意・確認するところがありますか？(複数回答可)	産年・産地・品種などのトレース 白い粒の混入 砕けたお米の混入 異物の混入 虫害等による色の着いた米の混入 精米年月日 納入先の情報 粒の整い具合 特に注意・確認はしない その他	25 24 19 14 15 25 15 11 0 4 78.1% 75.0% 59.4% 43.8% 46.9% 78.1% 46.9% 34.4% 0.0% 12.5%
問7: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和するべき 現状のままでよい 厳しくするべき わからない(どちらでもよい) その他・無回答	2 24 2 4 0 6.3% 75.0% 6.3% 12.5% 0.0%
問8: 玄米・精米・米飯等を提供されるにあたって、品質等で特に留意されている基準等がありましたらお聞かせ下さい。また、お米の農産物検査や流通等について、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。	玄米・精米・米飯等を提供する際に品質等で特に留意されている基準等(ご意見)	12 37.5%
ご意見・ご要望	3	9.4%

別紙8 消費者アンケート集計表

質問事項		回答数	割合
		142	
年齢	10代	0	0.0%
	20代	3	2.1%
	30代	9	6.3%
	40代	8	5.6%
	50代	36	25.4%
	60代	50	35.2%
	70代	25	17.6%
	80代	8	5.6%
	無回答	3	2.1%
問1: お住まいの都道府県名	お住まいの都道府県名	142	100.0%
問2: 1年間のお米の購入・消費量(1人当たり)kg	1年間のお米の購入・消費量(1人当たり)	133 (平均37kg)	93.7%
問3: お米の主な購入先について(複数回答可)	米穀小売専門店	13	9.2%
	スーパー・デパート	71	50.0%
	生協	24	16.9%
	JA	13	9.2%
	生産者	31	21.8%
	インターネット通販	6	4.2%
	家族・親戚・知人	28	19.7%
	産地直売所	6	4.2%
	ディスカウントストア	2	1.4%
	コンビニ	1	0.7%
	その他	2	1.4%
問4: お米の農産物検査は、流通規格としての機能のほか、お米の産年・産地・品種(銘柄)の証明として活用されている制度です。この農産物検査制度をご存じですか？	知っている	60	42.3%
	聞いたことはある	47	33.1%
	全く知らない	29	20.4%
	無回答	6	4.2%
問5: お米を購入される際に、主に重視される点はなんですか？	産地	76	53.5%
	品種	55	38.7%
	販売者	13	9.2%
	価格	35	24.6%
	品質	31	21.8%
	精米年月日	47	33.1%
	その他	7	4.9%
問6: お米を購入された時やご飯を食べられた際に、品質等において最も不快に思われた点はなんですか？(複数回答可)	白い粒の混入	12	8.5%
	砕けたお米の混入	22	15.5%
	草のタネなど異物の混入	5	3.5%
	虫害等による色の着いた米の混入	10	7.0%
	産年・産地・品種など表示事項との相違	3	2.1%
	古い精米年月日	10	7.0%
	そのような経験はない	89	62.7%
	その他	5	3.5%
問7: お米を購入された際に、品質などに問題があったことはありましたか。(複数回答可)	ありますか？また、その際はどのような対応をされましたか？		
問題があった	問題があった	18	12.7%
	問題があった事例は何でしたか？		
どのような対応をされましたか？	石・ガラスなど異物の混入	5	3.5%
	草の種など異物の混入	3	2.1%
	虫害等による色の着いた米の混入	2	1.4%
	砕けたお米の混入	17	12.0%
	異臭・カビ	1	0.7%
	袋表示と中身との差	1	0.7%
	その他	5	3.5%
	手で払いのける等自分で対応した	9	6.3%
	購入先に返品・交換を要求した	0	0.0%
	購入先に抗議に行った	2	1.4%
価格を交渉した	0	0.0%	
消費者センターなどへ通報した	0	0.0%	
特に何も行わなかった	20	14.1%	
その他	3	2.1%	
問題があったことはない		101	71.1%
問題があっても気にならない		15	10.6%
無回答		8	5.6%

質問事項	回答数	割合
問8: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和すべき	20 14.1%
	現状のままでよい	67 47.2%
	厳しくすべき	12 8.5%
	わからない(どちらでもよい)	23 16.2%
	その他・無回答	20 14.1%
問9: 玄米・精米・米飯等を購入されるにあたって、品質等で特に留意されている基準等がありましたらお聞かせ下さい。また、お米の農産物検査や流通等について、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。	玄米・精米・米飯等を購入する際に品質等で特に留意されている基準等(ご意見)	31 21.8%
ご意見・ご要望	16	11.3%

別紙9 学校給食関係アンケート集計表

質問事項	回答数	割合
	47	
問1: 主たる事務所の所在地(都道府県)	47	100.0%
問2: 平成26年度の米取扱数量(トン)	47 (平均1,540トン)	100.0%
問3: お米の主な仕入れ先(複数回答可)		
	全農	34 72.3%
	JA	21 44.7%
	JA以外の集荷業者	1 2.1%
	米穀卸売業者	7 14.9%
	米穀小売業者	0 0.0%
	生産者	1 2.1%
	その他	0 0.0%
問4: 玄米・精米・米飯の提供者からのクレームを受けたことがありますか？また、その主な理由は何ですか。(複数回答可)		0.0%
	クレームを受けたことがある	39 83.0%
	クレームを受けた主な理由は何でしたか？	
	石・ガラスなどの異物がある	20 42.6%
	草のタネなどの異物がある	19 40.4%
	着色粒が多い	6 12.8%
	もみの混入が多い	2 4.3%
	水分が高い	1 2.1%
	胴割・砕粒が多い	6 12.8%
	検査の等級と品質が一致しない	0 0.0%
	異品種の混入がある	0 0.0%
	異臭がある	2 4.3%
	その他	15 31.9%
	クレームを受けたことはない	8 17.0%
	無回答	0 0.0%
問5: 納入された玄米・精米・米飯の品質に問題があったことはありますか？また、その主な理由は何ですか？(複数回答可)		0.0%
	品質に問題があったことがある	34 72.3%
	品質に問題があった主な理由は何でしたか？	
	石・ガラスなどの異物がある	16 34.0%
	草のタネなどの異物がある	19 40.4%
	着色粒が多い	6 12.8%
	もみの混入が多い	3 6.4%
	水分が高い	1 2.1%
	胴割・砕粒が多い	8 17.0%
	異品種・異種穀粒の混入がある	1 2.1%
	異臭がある	3 6.4%
	その他	10 21.3%
	品質に問題があったことはない	13 27.7%
	無回答	0 0.0%
問6: 米を納入される際に、品質面などで特に注意・確認するところはありますか？(複数回答可)		
	産年・産地・品種などのトレース	33 70.2%
	白い粒の混入	8 17.0%
	砕けたお米の混入	12 25.5%
	異物の混入	39 83.0%
	虫害等による色の着いた米の混入	23 48.9%
	精米年月日	32 68.1%
	納入先の情報	3 6.4%
	粒の整い具合	5 10.6%
	特に注意・確認はしない	0 0.0%
	その他	2 4.3%
問7: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？		
	緩和すべき	2 4.3%
	現状のままでよい	37 78.7%
	厳しくすべき	3 6.4%
	わからない(どちらでもよい)	4 8.5%
	その他・無回答	1 2.1%
問8: 玄米・精米・米飯等を購入されるにあたって、品質等で特に留意されている基準等がありましたらお聞かせ下さい。また、お米の農産物検査や流通等について、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。		
	玄米・精米・米飯等を購入する際に品質等で特に留意されている基準等(ご意見)	15 31.9%
ご意見・ご要望	3	6.4%

別紙10 行政機関(都道府県)アンケート集計表

質問事項	回答数	割合	
	47		
問1: 農産物検査(米)の規格において、主に重視する項目はありますか？(複数回答可)	整粒	27	57.4%
	形質(粒ぞろい)	16	34.0%
	形質(充実度)	22	46.8%
	形質(肌ずれ)	7	14.9%
	形質(心白、腹白)	27	57.4%
	水分値	16	34.0%
	病害粒	14	29.8%
	虫害粒	17	36.2%
	胴割粒	21	44.7%
	死米	11	23.4%
	着色粒	21	44.7%
	異物・異種穀粒	13	27.7%
その他	4	8.5%	
問2: 農産物検査(米)の規格において、見直しが必要と思われる項目(緩和・強化等のどちらかに○印)はありますか？(複数回答可)	整粒値[緩和]	0	0.0%
	整粒値[強化]	0	0.0%
	形質(粒ぞろい)[緩和]	2	4.3%
	形質(粒ぞろい)[強化]	0	0.0%
	形質(心白、腹白粒)[緩和]	4	8.5%
	形質(心白、腹白粒)[強化]	0	0.0%
	水分上限値[緩和]	3	6.4%
	水分上限値[強化]	0	0.0%
	胴割粒[緩和]	1	2.1%
	胴割粒[強化]	1	2.1%
	死米[緩和]	0	0.0%
	死米[強化]	0	0.0%
	着色粒[緩和]	15	31.9%
	着色粒[強化]	0	0.0%
	異物・異種穀粒[緩和]	0	0.0%
	異物・異種穀粒[強化]	2	4.3%
	等級[簡素化]	4	8.5%
等級[細分化]	2	4.3%	
現行のままでよい	17	36.2%	
その他	1	2.1%	
問3: 農産物検査は貴都道府県の産地ブランド振興に有益と言えますか？	有益である	28	59.6%
	有益ではない	1	2.1%
	どちらとも言えない	17	36.2%
	その他・無回答	1	2.1%
問4: 現在、農産物検査は農産物検査員の目視による鑑定を基本としていますが、今後は穀粒判別機等の測定機器導入をもっと進めるべきだと思いますか？	進める必要がある	28	59.6%
	進める必要はない	3	6.4%
	現状のままでよい	11	23.4%
	その他・無回答	5	10.6%
問5: 農産物検査では、着色粒の混入限度(1等の場合0.1%など)を定めています。これは、カメムシなどの虫害によって色の着いたお米の混入限度を制限したものです。この色の着いたお米については、玄米を精米にする段階などで、生産者や流通事業者が色彩選別機を使って、さらに可能な限り取り除いた上で販売されています。生産者や消費者団体の中には、この混入限度を緩和・見直しするべきとの声もあります。このことについて、どのようにお考えですか？	緩和すべき	22	46.8%
	現状のままでよい	18	38.3%
	厳しくすべき	0	0.0%
	わからない(どちらでもよい)	5	10.6%
	その他・無回答	2	4.3%
問6: 農産物検査に望むことはありますか？、また、新たに必要又は不要と思われる基準等がありますか、ご意見をお聞かせ下さい。	検査手法の合理化、簡素化	17	36.2%
	検査規格の強化	0	0.0%
	検査規格の緩和	10	21.3%
	新たな評価方法の活用	7	14.9%
	DNA鑑定の導入	2	4.3%
	全面的な廃止	0	0.0%
	現状のままでよい	14	29.8%
その他	15	31.9%	
ご意見・ご要望	12	25.5%	